

優良工事及び優良委託業務表彰の受賞者が決定しました。

～良質な社会資本整備と土木建設技術者の育成を目指して～

北陸地方整備局では良質な社会資本整備、建設技術の向上及び円滑に事業を推進するために、北陸地方整備局が発注した工事及び委託業務等について、その施工又は成果が優秀で他の模範となる者を表彰しています。

○概 要

平成 28 年度に完成した工事及び委託業務等の中から、事業や業務の内容等を考慮し、特に優秀な者を局長表彰（64 件）、優秀な者を事務所長表彰（112 件）としました。なお、優良工事では社会基盤のメンテナンスをおこなう上で重要である「維持修繕」工事を対象とし、局長表彰（2 件）、事務所長表彰（5 件）を選定しています。（※維持修繕の表彰件数は、全体表彰件数の内数）

また、優良工事に選定された工事の下請負者の中から、工事の品質確保や向上に貢献した企業を表彰します。

○受賞数

別添 1 「優良工事等の表彰」について参照下さい。

○表彰式

本日（平成 29 年 7 月 20 日）、平成 29 年度国土交通事業関係功労者等表彰式において、局長表彰者を北陸地方整備局長から表彰します。事務所長表彰ならびに下請負者表彰は、各事務所等において表彰を行います。

・優良工事等表彰の受賞者一覧及び局長表彰の選定理由については、北陸地方整備局のホームページに本資料とあわせて掲載していますので、そちらをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/press/2017/press.html>

管内各県記者クラブ	(問い合わせ先)	
	国土交通省北陸地方整備局	Tel.025-280-8880
	企画部 工事品質調整官	吉越 政浩 (内線3130)
	技術管理課長	松永 和彦 (内線3311)
	港湾空港部	
	港湾空港整備・補償課長	高橋 亨 (内線6291)

優良工事等の表彰

1 目的

優良工事等の表彰は、北陸地方整備局所管の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

この中で、事業や業務の内容等を考慮し、特に優秀なものを局長表彰、優秀な者を事務所長表彰としています。

また、優良工事に選定された工事の下請負者の中から、工事の品質確保や向上に貢献した企業を表彰しています。

2 選定要件

工事等： 安全管理、工程管理並びに、出来形及び品質、出来ばえ等の施工管理が優秀であり、さらに、創意工夫、コスト縮減、リサイクル等に積極的に取り組むなど、他の模範となるもの。

委託業務等： 業務目的を十分理解のうえ、調査・解析等の専門技術力、工程・品質等の管理技術力に優れ、的確な成果の取りまとめを行うとともに、課題解決に向けた積極的な取り組みがみられるなど、他の模範となるもの。

下請負者等： 専門的な技術を取得した技能労働者を抱えた下請負者であり、専門技術の維持、向上に貢献しているもの。

4 その他

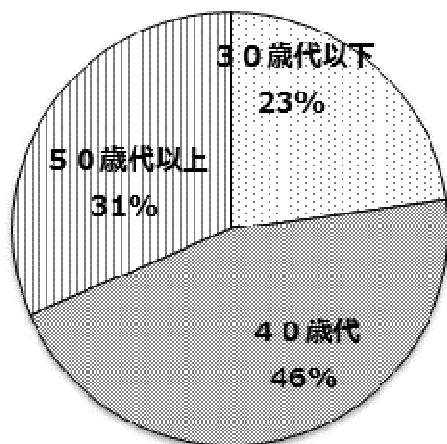
優良工事及び優良委託業務における技術者の年齢内訳は以下のとおり。

・技術者年齢内訳

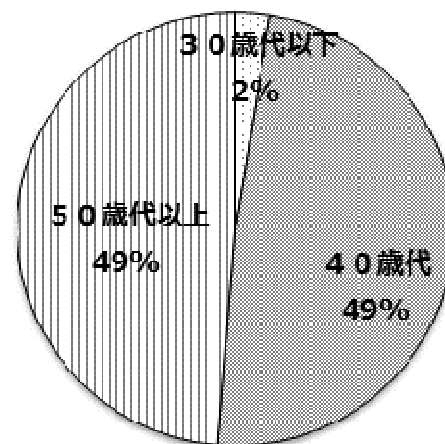
区分	工事		業務	
	技術者(全体)	受賞者	技術者(全体)	受賞者
平均年齢	46才	46才	50才	50才

・優良建設技術者の受賞者年齢割合

受賞者（工事）年齢割合

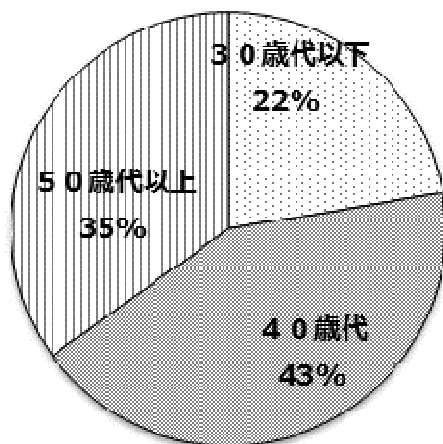


受賞者（業務）年齢割合

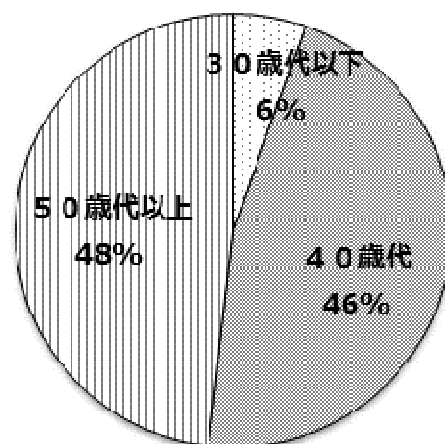


・技術者（全体）の年齢割合

平成28年度完成工事技術者の年齢割合



平成28年度完成業務技術者の年齢割合



5 表彰結果の活用

表彰結果は、入札契約等における総合評価落札方式の企業評価資料として活用します。

平成 28 年度完成 優良工事等一覧表

目 次

優良工事一覧表	1
優良工事〔局長表彰〕選定理由表	4
優良工事（維持修繕）一覧表	14
優良工事（維持修繕）〔局長表彰〕選定理由表	15
優良委託業務一覧表	16
優良委託業務〔局長表彰〕選定理由表	19
優良建設技術者（工事）一覧表	29
優良建設技術者（工事）〔局長表彰〕選定理由表	32
優良建設技術者（委託業務）一覧表	39
優良建設技術者（委託業務）〔局長表彰〕選定理由表	42
優良工事における下請負者一覧表	47
優良工事における下請負者の専任技術者一覧表	48

3 平成29年度の選定数

平成28年度に完成した工事等の中から、下記のとおり選定しました。

区 分	選 定 数	備 考
優良工事	局長表彰 19件 事務所長表彰 29件	完成工事全数 696件 (うち維持修繕工事数148件)
優良維持修繕工事	局長表彰 2件 事務所長表彰 5件	
優良委託業務	局長表彰 19件 事務所長表彰 29件	完成業務全数 963件
優良建設技術者(工事)	局長表彰 14名 事務所長表彰 21名	監理技術者等
優良建設技術者(委託業務)	局長表彰 10名 事務所長表彰 28名	管理技術者等
優良工事における下請負者	事務所長表彰 27件	優良工事に選定された工事の中から、元請負業者の推薦により選定
優良工事における下請負者の専任技術者	事務所長表彰 24名	

※参考

平成27年度 完成工事件数665件(うち維持修繕工事数141件)

平成27年度 完成業務件数997件

選定結果

優良工事(局長表彰) 全19件

	受注者名	工事名	事務所名
1	会津土建株式会社	宮古弱小堤防対策工事	阿賀川河川事務所
2	相村建設株式会社	上沼道 門田新田IC橋下部工事	高田河川国道事務所
3	朝野工業株式会社	H28金剛川橋外耐震補強等工事	富山河川国道事務所
4	梅本建設工業株式会社	庄川・寺塚原築堤護岸その3工事	富山河川国道事務所
5	大高建設株式会社	黒薙川第2号砂防堰堤改築工事	黒部河川事務所
6	加賀建設株式会社	H27・28犀川橋外耐震補強工事	金沢河川国道事務所
7	株式会社笠原建設	葛葉上流第2号床固工工事	松本砂防事務所
8	株式会社風組	H27・28柳谷中流砂防堰堤群工事	金沢河川国道事務所
9	坂本土木株式会社	跡津川上流砂防堰堤その2工事	神通川水系砂防事務所
10	新栄建設株式会社	H28 有峰下流左岸山腹工事	立山砂防事務所
11	竹沢建設株式会社	小矢部川・合又川合流点処理その2工事	富山河川国道事務所
12	株式会社種村建設	高平沢溪流保全工他工事	湯沢砂防事務所
13	東洋建設株式会社 北陸支店	新潟港(西港地区) 航路泊地付帯施設上部工事	新潟港湾・空港整備事務所
14	西松建設株式会社 北陸支店	国道289号 7号トンネル工事	長岡国道事務所
15	株式会社廣瀬	阿賀野バイパス 17工区改良その14工事	新潟国道事務所
16	株式会社福田組	大石西山排水トンネル工事	阿賀野川河川事務所
17	株式会社吉田建設	上片貝築堤その2工事	信濃川河川事務所
18	株式会社吉光組	H27手取川舟場島急流河川対策その1工事	金沢河川国道事務所
19	若築建設株式会社 北陸支店	金沢港(大野地区)岸壁(-13m)築造工事	金沢港湾・空港整備事務所

※50音順

平成28年度完成 優良工事〔局長表彰〕

番号

9

受注者	坂本土木株式会社	事務所名	神通川水系砂防事務所	
	代表取締役 坂本 重雄	工期	平成28年4月1日 ～ 平成28年12月13日	
	岐阜県飛騨市神岡町麻生野514番地22	請負金額	72,900.0	千円
工事名	跡津川上流砂防堰堤その2工事	工事場所	岐阜県飛騨市神岡町跡津川地先	
工事概要	砂防土工（掘削V=900m ³ 埋戻しV=400m ³ ） コンクリート堰堤工（コンクリートV=1,200m ³ 型枠A=700m ² ） 仮設工（砂防仮橋（下部工）、砂防締切工・水替工）			
選定理由	<p>本工事の施工箇所である飛騨市神岡町跡津川地内は、飛越地震の震源である跡津川断層が存在し、不安定な地質構造を呈し、深層崩壊の危険度が高い溪流が多く、河床には大量の土砂が堆積している。</p> <p>一方、自然が豊かで様々な鳥類や魚類が生息し、釣り人が絶えない条件の中の施工であり、また、工事箇所沿いの道路には、スーパーカミオカンデンに加えて大型低温重力波望遠鏡（KAGRA）が建設され、大規模場物理実験・研究拠点として整備が進められ、多くの世界的な研究者が訪れている。しかし、地元道路は非常に狭く古い道路であるため工事車両との交通事故の危険性が高く、交通管理にも特段の配慮が必要な工事であった。</p> <p>本工事では、魚類への影響が少なくなるよう、河川汚濁の低減対策等を行い、また、現場場内付近を通行して、釣りや山菜を取りに入る第三者や外国からの研究者等の交通事故を防止する安全確保が課題であったが、降雨等による河川の急激な増水がある中、気象情報収集を行い安全に作業を行い、第三者が現場場内に踏み込まない二重の対策を行うと共に、外国からの研究者に対しては、英字による交通事故を防止する看板を危険箇所に設置する等、安全管理に留意し、無事故で工事を完成させ、他の工事の模範となるものである。</p>			

平成28年度完成 優良工事〔局長表彰〕

番号

10

受注者	新栄建設株式会社	事務所名	立山砂防事務所	
	代表取締役 高平 剛	工期	平成28年3月18日 ～ 平成28年10月31日	
	富山県中新川郡立山町大清水18	請負金額	131,760.0	千円
工事名	H28 有峰下流左岸山腹工事	工事場所	富山県富山市有峰地先	
工事概要	<p>本工事は、荒廃が著しい立山カルデラ内の湯川・多枝原谷合流点に堆積している鳶山崩落堆積土の裸地を緑化することにより、降雨等による浸食防止及び風化による崩落を防止するため、法面工等の斜面对策を行う工事である。</p> <p>砂防土工1式、法面工1式、山腹水路工1式、2号アンカートンネル（荷重計設置）1式、仮設工1式</p>			
選定理由	<p>本工事の施工箇所は、脆弱な崩壊堆積物が多量に堆積し、少量の降雨でも土石流や土砂崩壊等の発生が危惧され、かつ落石の危険性が伴うなど、非常に厳しい現場条件である。作業期間は、5月中旬から10月下旬までの約5ヶ月半と限られ、生活は閉鎖された山間僻地で合宿しながらの工事であった。</p> <p>このような厳しい条件のもとで、本工事においては急峻かつ斜面高所での工事であることから、施工中の転落や落石などに対する安全と短期施工の作業効率確保が求められる中で、仮設設備や安全教育活動に工夫を図るなど、作業の効率化、安全施工に取り組み、工期内に無事故で工事を完成させた。</p>			